

目 次

研究の概要	3
1 研究の目的と背景.....	3
2 調査の内容.....	4
3 実施体制.....	5
常時介護を要する障害者等のタイムスタディ調査 ...	6
1 調査実施フレーム.....	6
(1) 調査対象の考え方.....	6
(2) 調査コードの設定.....	8
(3) 調査の実施.....	10
2 常時介護を要する障害者等のタイムスタディ結果の類型別整理... (就寝時の介護を中心に)	12
(1) 医療型 A	13
1) 調査対象者の状態像と支援体制	
2) ケースごとに見た状態像と就寝時のタイムスタディ調査結果	
(2) 医療型 B	22
1) 調査対象者の状態像と支援体制	
2) ケースごとに見た状態像と就寝時のタイムスタディ調査結果	
(3) 生活支援型 A	30
1) 調査対象者の状態像と支援体制	
2) ケースごとに見た状態像と就寝時のタイムスタディ調査結果	
(4) 生活支援型 B	41
1) 調査対象者の状態像と支援体制	
2) ケースごとに見た状態像と就寝時のタイムスタディ調査結果	
(5) 生活支援型 C	50
1) 調査対象者の状態像と支援体制	
2) ケースごとに見た状態像と就寝時のタイムスタディ調査結果	

3	集計結果と調査結果からの示唆.....	57
(1)	調査対象者の基本属性.....	57
(2)	集計結果の整理.....	60
1)	集計結果	
2)	就寝時の「待機」の目的と、支援の支持者・根拠	
(3)	考察 常時介護の状態像における「必要な介護」の.....	63
	グラデーシヨンの検討	
1)	状態像と「必要な介護」のグラデーシヨンの考え方	
2)	就寝時の介護実態として多くを占めていた「待機(見守り)」 についての考察	
(4)	必要な支援体制のあり方について	68
1)	「常時介護が必要」の内容を多角的に検討する必要	
2)	その他「常時介護」の状態像の障害者支援体制に求められること	
	「常時介護を要する状態像」に準ずる障害者の.....	73
	支援に関するヒアリング調査	
1	調査実施フレーム.....	73
(1)	調査の目的と調査対象の考え方.....	73
(2)	調査実施概要	73
2	ヒアリング結果.....	74
(1)	ヒアリング対象ケースの状態像と支援経過.....	74
(2)	ヒアリング結果.....	77
1)	計画作成、モニタリングに際しての工夫や困難点について	
2)	サービス提供による効果とむずかしさ、今後の課題	
3)	改善が必要な点、ご本人にとって不足しているサービス、 あったらいいサービス等	
4)	その他親亡き後も、在宅での生活を希望するご本人に対する支援	
3	調査結果からの示唆.....	84

参考資料

85

- 1 常時介護を要する障害者等のタイムスタディ集計結果(24時間・就寝時)
- 2 調査票
 - (1) 常時介護を要する障害者等のタイムスタディ関連
 - (2) 「常時介護を要する状態像」に準ずる障害者の支援に関する
ヒアリング調査関連